

# 鹿児島県三島・黒島における植物採集記録

森 田 康 夫\*

The report of the plant collection on Kuro-shima of Mishima, Kagoshima Prefecture  
Yasuo MORITA

## はじめに

三島村の西側に位置する黒島は、薩摩半島南西端の枕崎市の南西約55kmの東シナ海上に浮かぶ面積6.8km<sup>2</sup>のほぼ円形をした小さな島である。地形は急峻で平地はほとんどなく、海岸の多くは断崖となっている。島の中央部には最高峰の櫓岳（621m）、横岳（579m）、カムコ山（560m）等の山岳がそびえ、ここを源に水量豊かな小河川が流れ下っている。気象に関する詳細なデータはないが、枕崎市の気象から判断して年平均気温は19℃超、年間降水量は2,500mm前後と考えられる。島の人口は200人足らずで過疎化が進み、住民は山の中腹以下で行う牧畜や小規模な漁業、観光業等の産業を営んでいる。黒島の名は、全島が鬱蒼とした森でおおわれているところからつけられたといわれるが、現在は牧畜に伴う草原化や森林伐採の進行で、黒々とした森は島の中腹以上に限られ昔の面影はない。

黒島における植物採集の記録は、1949年の初島住彦氏による65種の採集が最初で、その後1953年に大野照好氏が350種、1983年には迫静男氏と丸野勝敏氏が551種を報告している。またこれより前の1964年に佐藤三千代氏が「黒島のシダについて」を発表し、約100種類のシダ植物を報告している。

当県立博物館における黒島での植物資料収集は、1986年の川越良昭によるものが大半で、シダ植物54種、種子植物190種を収集し、1996年には寺田仁志が収集するなどして、合わせてシダ植物69種、種子植物243種の合計312種が標本として収蔵されている。なお、寺田は黒島での植生調査も実施し、詳細な植生図を作製している。

今回、黒島における植物資料の追加収集と分布上貴重な植物の生育状況の確認を兼ねて、「触れ見る知る自然資料収集整備事業」に基づき、2005年の10月11日から13日までの3日間にわたって、当該地域での植物資料の収集を実施したのでその結果を報告する。

調査では、3日間という短い期間を有効に利用するため、この地域の植物相に詳しい元当館学

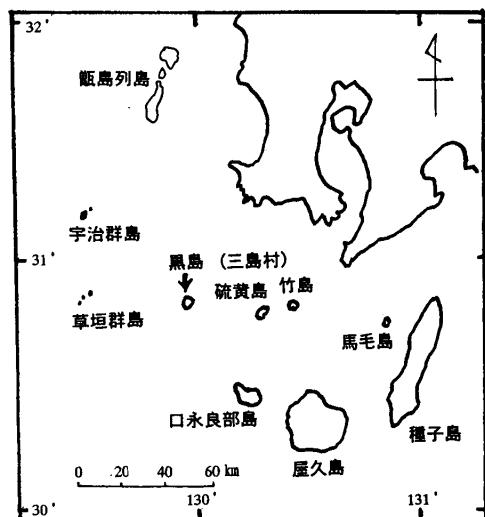


図1 黒島 位置図

\* 〒892-0853 : 鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館

芸指導員の丸野勝敏氏に同行を依頼した。丸野氏には、代表的な植物相を観察できる地域への案内のほか、収集植物の同定についてもお世話になった。また、疑問種等の同定で鹿児島大学名誉教授の初島住彦氏、収蔵資料の標本化と同定で植物ボランティアの篠崎チサ氏にもお世話をいただいた。この場を借りて厚くお礼申し上げる。

## 1 資料収集地の概要

主な収集地の状況についてその概略を述べる。(図2参照)

### (1) 横岳～横岳稜線

標高500m前後の山々が東西に延びる稜線沿いで、島の脊梁をなしている。中腹の林道から樹林内を登山道が整備され、中腹は主にスダジイ、山頂部はアカガシが優占する照葉樹林が形成されている。林床はこの地特有のハランやスズタケが被い、トカラカンアオイも多い。また、西端のカムコ山には、岩上にケイビランが生育している。

### (2) 日暮川上流域

脊梁山地から南側に流れる日暮川の海拔200mから300mに至る流域の樹林帯である。トカラタマアジサイを求めて分け入った地域であるが、目的としたものは見つからず、南方系のツルマオやコヤブミョウガなどの植物を採集した。

### (3) 中里川下流域

脊梁山地から北側に流れる中里川の海拔200mから100mに至る流域の樹林帯である。周辺は放牧地が囲み、樹林帯は川沿いの部分だけに限られている。リュウビンタイやオオイワヒトデ等のシダ植物を多く採集した。

### (4) 片泊集落林道

島の西側にある片泊集落から海拔200mほどの山腹を西から南に走る林道沿いで、約2kmにわたって採集した。満開のサツマハギが多数見られ、北限種のヤンバルセンニンソウや北方系のオニドコロ等路傍植物やつる植物を採集した。

### (5) 大里集落

島の東側にある集落で、唯一砂浜海岸があり、海浜植物のオイランアザミやニオウヤブマオ等を採集した。

## 2 採集した植物について

次項の表は、今回の調査で採集した植物資料の一覧である。合計43科79種の高等植物を採集し標本にして収蔵した。短期間で限られた場所のみでの調査であるため採集種数はそれほど多くないが、黒島固有の植物やこの地が北限や南限となっている種など、分布上注目すべき多く

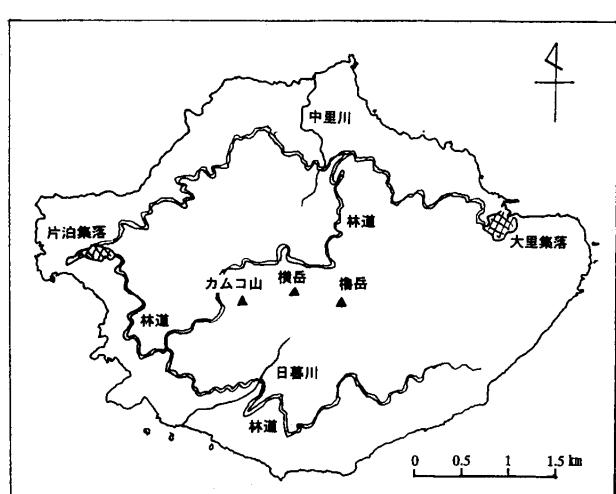


図2 黒島の植物収集地

表 黒島収集資料一覧

## シダ植物 Preridophyta

科名	和名	学名	採集地	備考
ヒカゲノカズラ科	ミズスギ	<i>Lycopodium cernuum</i>	片泊集落林道	
イワヒバ科	オニクラマゴケ	<i>Selaginella doederleinii</i>	櫛岳～横岳稜線	
リュウビンタイ科	リュウビンタイ	<i>Angiopteris lygodiifolia</i>	中里川下流域	
コバノイシカグマ科	イシカグマ	<i>Microlepia strigosa</i>	中里川下流域	
ホングウシダ科	ハマホラシノブ	<i>Sphenomeris biflora</i>	塩手鼻海岸	
チャセンシダ科	ナンゴクホウビシダ	<i>Asplenium cataractarum</i>	日暮川上流域	
	ヌリトラノオ	<i>Asplenium normale</i>	櫛岳～横岳稜線	
	オオタニワタリ	<i>Asplenium antiquum</i>	櫛岳～横岳稜線	
ツルキジノオ科	ヘツカシダ	<i>Bolbitis subcordata</i>	中里川下流域	
オシダ科	コバノカナワラビ	<i>Arachniodes sporadosora</i>	中里川・日暮川	
イワデンダ科	カツモウイノデ	<i>Ctenitis subglandulosa</i>	中里川下流域	
	ノコギリシダ	<i>Diplazium wichurae</i>	中里川下流域	
	ヒロハノコギリシダ	<i>Diplazium dilatatum</i>	櫛岳～横岳稜線	
	シロヤマシダ	<i>Diplazium hachijoense</i>	中里川下流域	
ウラボシ科	イワヒトデ	<i>Colysis elliptica</i>	櫛岳～横岳稜線	
	オオイワヒトデ	<i>Colysis pothifolia</i>	中里川下流域	
	ヤリノホクリハラン	<i>Colysis wrightii</i>	日暮川上流域	
	ホコザキウラボシ	<i>Microsorium dilatatum</i>	日暮川上流域	

[ 計 10科 18種]

## 種子植物 Spermatophyta

## 被子植物 Angiospermae 双子葉類 Dicotyledoneae

科名	和名	学名	採集地	備考
ブナ科	アカガシ	<i>Quercus acuta</i>	櫛岳～横岳稜線	北方系
イラクサ科	ニオウヤブマオ	<i>Boehmeria gigantea</i>	大里集落	
	ツルマオ	<i>Gonostegia hirta</i>	日暮川上流域	南方系
	キミズ	<i>Pellionia scabra</i>	中里川下流域	
ウマノスズクサ科	トカラカンアオイ	<i>Asarum tokarense</i>	櫛岳～横岳稜線	トカラ固有
ヤマグルマ科	ヤマグルマ	<i>Trochodendron aralioides</i>	櫛岳～横岳稜線	北方系
キンポウゲ科	ヤンバルセンニンソウ	<i>Clematis meyeniana</i>	片泊集落林道	北限
クスノキ科	マルバニッケイ	<i>Cinnamomum daphnoides</i>	大里集落	
	ホソバタブ	<i>Machilus japonica</i>	櫛岳～横岳稜線	
ユキノシタ科	マルバウツギ	<i>Deutzia scabra</i>	中里川下流域	
	トカラアジサイ	<i>Hydrangea kawagoeana</i>	櫛岳～横岳稜線	北限
バラ科	キンミズヒキ	<i>Agrimonia pilosa</i>	片泊集落林道	
マメ科	シバハギ	<i>Desmodium heterocarpon</i>	大里集落	
	ヌスピトハギ	<i>Desmodium podocarpum</i> subsp. <i>oxyphyllum</i>	片泊集落林道	
	サツマハギ	<i>Lespedeza thunbergii</i> var. <i>satsumensis</i>	片泊集落林道	南限
	メドハギ	<i>Lespedeza juncea</i>	片泊集落林道	
	シマエンジュ	<i>Maackia tashiroi</i>	片泊集落林道	
	タンキリマメ	<i>Rhynchosia volubilis</i>	片泊集落林道	

科名	和名	学名	採集地	備考
モチノキ科	トカライヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> var. <i>tokarennsis</i>	櫓岳～横岳稜線	トカラ固有
ニシキギ科	マサキ	<i>Euonymus japonicus</i>	中里川下流域	
	リュウキュウマユミ	<i>Euonymus lutchuensis</i>	櫓岳～横岳稜線	
ブドウ科	エビヅル	<i>Vitis thunbergii</i>	片泊集落林道	
アオイ科	サキシマフヨウ	<i>Hibiscus makinoi</i>	中里川下流域	
	ポンテンカ	<i>Urena lobata</i> var. <i>sinuata</i>	櫓岳～横岳稜線	
グミ科	アキグミ	<i>Elaeagnus umbellata</i>	塩手鼻海岸	
セリ科	ボタンボウフウ	<i>Peucedanum japonicum</i>	片泊集落林道	
ヤブコウジ科	カラタチバナ	<i>Ardisia crispa</i>	櫓岳～横岳稜線	
	オオツルコウジ	<i>Ardisia montana</i>	櫓岳～横岳稜線	特異分布
ハイノキ科	ヒロハハイノキ	<i>Symplocos myrtacea</i> var. <i>latifolia</i>	櫓岳～横岳稜線	固有
モクセイ科	オオモクセイ	<i>Osmanthus rigidus</i>	櫓岳～横岳稜線	トカラ固有
キョウチクトウ科	サカキカズラ	<i>Anodendron affine</i>	中里川下流域	
ガガイモ科	サクララン	<i>Hoya carnosa</i>	中里川下流域	
クマツヅラ科	オオムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> var. <i>luxurians</i>	片泊集落林道	
シソ科	ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i>	櫓岳～横岳稜線	
	エゴマ	<i>Perilla frutescens</i> var. <i>frutescens</i>	日暮川上流域	
キツネノマゴ科	キツネノマゴ	<i>Justicia procumbens</i>	片泊集落林道	
アカネ科	ビシンジュズネノキ	<i>Damnacanthus indicua</i> var. <i>intermedius</i>	中里川下流域	
	ギヨクシンカ	<i>Tarenna gracilipes</i>	日暮川上流域	
	シラタマカズラ	<i>Psychotria serpens</i>	櫓岳～横岳稜線	
ウリ科	アマチャヅル	<i>Gynostemna pentaphylla</i>	片泊集落林道	
キク科	オキナワテイショウソウ	<i>Ainsliaea macrocrinidoides</i> var. <i>okinawensis</i>	櫓岳～横岳稜線	
	オイランアザミ	<i>Cirsium spinosum</i>	大里集落	
	ヤマヒヨドリ	<i>Eupatorium variable</i>	片泊集落林道	

[ 計 26科 43種 ]

### 单子葉類 Monocotyledoneae

科名	和名	学名	採集地	備考
イネ科	エダウチチヂミザサ	<i>Oplismenus compositus</i>	片泊集落林道	
	コウライシバ	<i>Zoysia tenuifolia</i>	塩手鼻海岸	
	スズタケ	<i>Sasamorpha borealis</i>	櫓岳～横岳稜線	南限
カヤツリグサ科	コゴメスゲ	<i>Carex brunnea</i>	片泊集落林道	
	ナガボスゲ	<i>Carex dolichostachya</i>	櫓岳～横岳稜線	北限
	スゲ属の1種	<i>Carex sp.</i>	櫓岳～横岳稜線	
	クグテンツキ	<i>Fimbristylis floribunda</i>	片泊集落林道	
	イソヤマテンツキ	<i>Fimbristylis ferruginea</i>	塩手鼻海岸	
ツユクサ科	コヤブミヨウガ	<i>pollia japonica</i> var. <i>minor</i>	日暮川上流域	南方系
ユリ科	ケイビラン	<i>Alecturus yedoensis</i>	櫓岳～横岳稜線	特異分布
	ハラン	<i>Aspidistra elatior</i>	櫓岳～横岳稜線	特異分布
	カラスギバサンキライ	<i>Heterosmilax japonica</i>	櫓岳～横岳稜線	

科名	和名	学名	採集地	備考
ユリ科	ノシラン	<i>Ophiopogon jaburan</i>	櫓岳～横岳稜線	
ヤマノイモ科	オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>	片泊集落林道	北方系
ショウガ科	アオノクマタケラン	<i>Alpinia intermedia</i>	櫓岳～横岳稜線	
ラン科	ツユクサシュスラン ミヤマウズラ ユウコクラン	<i>Goodyera foliosa</i> var. <i>commelinoides</i> <i>Goodyera schlechtendaliana</i> <i>Liparis formosana</i>	櫓岳～横岳稜線 櫓岳～横岳稜線 櫓岳～横岳稜線	

[計 7科 18種]

総計 43科 79種

の種を採集することができた。

以下、採集したこれらの植物について得られた若干の知見をまとめてみる。

(1) 黒島固有の植物 [表中の備考欄は「固有」と記載]

ヒロハハイノキ *Symplocos myrtacea* var. *latifolia* ハイノキ科

ハイノキの変種でやや葉が広く橢円形をしている。黒島の脊梁山地の中腹以上では、普通に見られる。

(2) 黒島とトカラ列島固有の植物 [表中の備考欄は「トカラ固有」と記載]

① トカラカンアオイ *Asarum tokarensense* ウマノスズクサ科

トカラ列島の口之島、中之島と口永良部島、それにこの黒島にのみ生えるカンアオイのなかまで、黒島では櫓岳中腹の樹林帯の林床に見られる。葉は大型で雲紋は少ないが、秋から冬に特有の花を咲かせる。

② トカライヌツゲ *Ilex crenata* var. *tokarennsis* モチノキ科

トカラ列島の口之島、中之島と黒島に固有の常緑低木で、黒島では脊梁山地の中腹以上に希に自生している。普通のイヌツゲより葉が小さく長さ1～2cmほどである。

③ オオモクセイ *Osmanthus rigidus* モクセイ科

黒島を北限として、屋久島からトカラ列島の悪石島まで分布する常緑の小高木で、やや湿った山腹斜面に見られる。黒島では、櫓岳を中心とした脊梁山地の中腹斜面に散見でき、個体数は少なくない。

(3) 黒島を分布の北限とする植物 [表中の備考欄は「北限」と記載]

① ヤンバルセンニンソウ *Clematis meyeniana* キンポウゲ科

黒島、屋久島、種子島の線を北限とし、南西諸島に広く分布するつる植物で、林縁に見られ、葉が1回3出複葉で小葉は3枚ある。島の南側を走る林道沿いの林縁で採集した。

② トカラアジサイ *Hydrangea kawagoeana* ユキノシタ科

トカラ列島が分布の中心で、黒島から奄美諸島の沖永良部島まで分布する低木である。トカラでは路傍や草地に広く自生しているが、黒島では脊梁山地のやや明るい林内に生える。屋久島固有のヤクシマアジサイによく似ている。

③ ナガボスゲ *Carex dolichostachya* カヤツリグサ科

琉球以南に生えるスゲのなかまで、本県では沖永良部島と黒島だけに知られ、黒島が北限となる。黒島では脊梁山地の中腹以上の林内に希に産する。採集した個体は穂のない不完全標本で、葉や根茎のようすから判断したが、出穂時期に再度採集する必要がある。

(4) 黒島を分布の南限とする植物 [表中の備考欄は「南限」と記載]

① サツマハギ *Lespedeza thunbergii* var. *satsumensis* マメ科

九州南部に固有のハギで、花柄が短く濃い紅紫色の花が特徴的である。分布南限の黒島では、標高200mほどの南側林道一帯に広く自生していたが、北側の林道や東側の大里集落方面では全く見あたらなかった。

② スズタケ *Sasamorpha borealis* イネ科

北海道から九州までの明るい山地の林床に生えるササのなかまで、南西諸島では黒島が唯一の生息地で南限となっている。黒島では、脊梁山地の山頂一帯の林床に割合広く分布しており、寒冷期の遺存種であるという考えもある。

(5) 特異な分布をする植物 [表中の備考欄は「特異分布」と記載]

① オオツルコウジ *Ardisia montana* ヤブコウジ科

千葉県、伊豆諸島、岡山県及び九州の大分県と本県の黒島、口永良部島、奄美大島、徳之島に隔離的に分布する常緑の小低木で、ツルコウジに比べて葉が革質で大きく、匍匐茎に葉がつかない特徴がある。ヤブコウジとツルコウジの雑種という考え方もある。黒島では脊梁山地の稜線上の林内で採集したが、個体数は少ない。

② ケイビラン *Alecturus yedoensis* ユリ科

紀伊半島、四国、九州の山の岩や崖に希に生える多年草で、本県では下甑島と屋久島、そしてこの黒島にだけ自生している。黒島では脊梁山地の西端のカムコ山の山頂の岩場に生えるが、個体数は少ない。花期は夏で、採集した10月にはすでに終わっていた。

③ ハラン *Aspidistra elatior* ユリ科

中国原産といわれ、庭などに植栽される常緑の多年草。日本では本県の宇治群島向島とトカラ列島の諏訪之瀬島、それに黒島の3カ所が唯一の自生地である。いずれも山頂の樹林帶の林床に生えるが、黒島の集団は櫓岳の山頂付近で広範囲に自生している。

(6) 南限地が黒島にほど近い北方系の植物 [表中の備考欄は「北方系」と記載]

① アカガシ *Quercus acuta* ブナ科

東北地方から九州の山地に普通の常緑樹、黒島のすぐ南にある屋久島が南限。

② ヤマグルマ *Trochodendron aralioides* ヤマグルマ科

本州以南の山地に生える常緑樹、本県では大隅半島と屋久島に多いが薩摩半島にはない。

③ オニドコロ *Dioscorea tokoro* ヤマノイモ科

北海道から屋久島(南限)まで分布、県本土では普通に見られる。

(7) 北限地が黒島にほど近い南方系の植物 [表中の備考欄は「南方系」と記載]

① ツルマオ *Gonostegia hirta* イラクサ科

南西諸島以南に広く分布、北限は薩摩半島南端の山川、枕崎。

② コヤブミョウガ *pollia japonica* var. *minor* ツユクサ科

南西諸島以南に広く分布、北限は薩摩・大隅半島南部。

## おわりに

以上、三島村の黒島において収集した43科79種の植物についてその概要を報告した。わずか3日間という短い期間で採集できた植物も限られているが、当地固有種のヒロハハイノキをはじめ、トカラ列島固有種のトカラカンアオイやオオモクセイ、特異な分布を呈するケイビランやハランなど分布上貴重な植物を多数採集し、標本として収蔵することができた。今回の資料収集によって当館の黒島における植物収蔵資料数は、シダ植物73種、種子植物251種の合計324種となり、黒島に自生する植物の6割近くを収蔵したことになる。

また今回の調査で、黒島の植物相を代表する多くの植物を確認できた意義は大きいが、一方では、主目的のひとつであったトカラ列島固有種のトカラタマアジサイ *Hydrangea involuculata* var. *tokaraensis* について、発見者でもある丸野氏の案内で自生地の日暮川流域を2時間にわたって探したが見つけることができなかった。口之島と諏訪之瀬島、それにこの黒島が唯一の自生地であるだけに残念であるが、個体群が生存していることを希望してやまない。

南西諸島の北端、九州本土のすぐ南に位置する黒島は、面積は小さいものの急峻な地形もあって昔から鬱蒼とした森に覆われ、多様な植物相に恵まれている。奄美・沖縄と共に通する熱帯・亜熱帯性植物や、北海道から九州に共通する温帯植物など、この地域に固有の植物も含めて植物分布上重要な位置にあると考えられる。さらに、櫓岳を中心とする脊梁山地一帯のアカガシ・スダシイが優占し、スズタケやハランが群生する照葉樹林は貴重である。しかしこの島でも、森林伐採や放牧地の開拓が進み、原生的な自然はかなり失われて脊梁山地の頂上付近に局所的に残存するにすぎない。今後、残された森林の保護に努め、現在の植物相が維持されるよう期待してやまない。

## 引用・参考文献

岩槻邦男編, 1992, 日本の野生植物シダ. 平凡社, 東京.

鹿児島県環境生活部環境保護課, 2003, 鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物 植物編一

鹿児島県レッドデータブック. 財団法人鹿児島県環境技術協会.

佐竹義輔他・編, 1981, 日本の野生植物草本~. 平凡社, 東京.

佐竹義輔他・編, 1989, 日本の野生植物木本~. 平凡社, 東京.

寺田仁志, 1996, 鹿児島県・黒島の植生と現存植生図, 鹿児島県立博物館研究報告第15号. 9

-38, 鹿児島県立博物館.

初島住彦, 1986, 改訂鹿児島の植物目録. 1-290, 鹿児島.

初島住彦, 1991, 北琉球の植物. 38-40, 朝日印刷書籍出版, 鹿児島.

## 黒島の植生と採集植物



西側から見た黒島全景



檜岳北東斜面の照葉樹林



檜岳山頂付近のハラン群落



オオタニワタリ



サツマハギ



ツユクサシュスラン



オキナワテイショウソウ